

ホームページのほかにも市公式フェイスブック（10月22日現在、2766いいね！）でもまちの出来事を紹介しています。ぜひご覧ください。

楽器や鼓笛など、日頃の学校での練習成果を発表

街ながが多くの家族連れで活気にあふれました

古田史郎選手、白石啓文選手、越川優選手が来てくれました

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

9/26 市民ボッチャ交流大会



名寄市社会福祉協議会が主催し、スポーツセンターで開催。最少は2歳、最高は86歳の方が参加しました。投じたボールが思い通りの位置に止まるとチームで喜び合っていました。

4回目の開催となった本大会は144人の市民がエントリー

9/24 名寄市小中学校音楽発表会



市民文化センターENRAYホールで開催され、新型コロナウイルスの影響で保護者の観覧が別会場の中継となりました。そのこともあってか、児童・生徒たちは緊張せず堂々と演奏していました。

10/5 もち米ロゴマーク発表



「もっともち米プロジェクト」の一環として、もち米ロゴマークの発表会が行われました。加藤市長は「名寄産もち米のブランド力を高め、もち米の消費拡大につながれば」と展望を述べました。

一目で名寄のもち米を使っていることが伝わるデザイン

9/26 第8回ふうれん街なかマルシェ



風連駅前市街地で開催。お店をめぐる「ウォークスタンプラリー」のほか、自衛隊車両やパトカーの展示、興部町や下川町の特産品が並ぶお店などが開設されました。

10/11 街なか運動会



Nスポーツコミッションが名寄駅前商店街で開催。746m×3人リレーや周辺の商店で本当に購入する買い物競争が行われ、保護者の方など絶え間なく声援が飛び交っていました。

信号も無点灯にされ、みんなが道路を自由に駆け抜けました

10/8 ヴォレアス北海道が訪問



旭川市を本拠地として活動するプロバレーボールチームのヴォレアス北海道の選手が名寄南小学校を訪問。「夢への挑戦と目標設定の重要性」をテーマに講演やバレーの指導などを行いました。